

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第115号

平成30年3月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

子ども達の科学体験活動のために



会員の皆様方には、今年度も様々な事業で子ども達の科学体験活動の推進にご協力いただき、感謝申し上げます。神奈川の、日本の、世界中の人々が心身バランスの取れたより良い生活を送るためには、科学の発展と、生活の中への普及が欠かせません。そのためには、科学分野に興味を持つ子ども達を増やし、科学の裾野を広げていくことが大切です。

←開花したハクモクレン(3月15日、事務局撮影)

理事会 3/2(金)

3月2日(金)、15:30~17:00に理事会(理事10名)が青少年センターで開かれ、総会に向けて連絡事項・協議事項の確認が行われました。また、この1年間の協議会の活動について、理事の所属団体(会員)を中心に振り返りを行いました。

その後、事務局(科学部長)から、“**桃太郎とかぐや姫の物語を科学的に分析して、食事の大切さを考える**”という部長ミニ講話を理事の皆さんにご清聴いただきました。(この講話は、青少年センター科学部の事業「高校生天文講座」の修了式で科学部長から高校生達に話したものです。)



↑部長ミニ講話のスライドから
(自画自賛ながら好評でした!)

総会 3/9(金)

理事会の1週間後、3月9日(金)に、青少年センターにて総会が開催されました。会長(青少年センター館長)の挨拶の後、まず報告事項(①会員確認、②H29年度事業報告、③助成金会計報告、④次期理事)を事務局から報告しました。

報告の中で、“**なぜ勉強するの?**”という部長ミニ講話を行いました。

(この講話は、「小学生科学研究クラブ」の修了式で科学部長から小学生達に話したものです。)

続いて、協議事項2件(①H30年度事業計画、②助成金申請)の審議の後、総会の議事の全てが承認されました。



会長の挨拶



総会の様子

部長ミニ講話のスライドから→
(手前味噌ながらたいへん好評でした!)



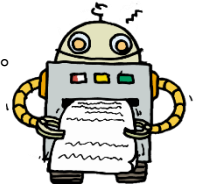
科学講演会

協議会の総会后、横須賀市自然・人文博物館の学芸員である柴田健一郎氏を講師にお招きして「足跡化石から見る過去の動物の生態 ～恐竜・鳥類・哺乳類の足跡化石から～」という演題で講演会が開催されました。



足跡だけからでは当然わからないこともたくさんあります。

だからこそ、逆に色々なことを想像できる楽しみがあります。「どんなふうに歩いていたのか?」「ここで2匹の恐竜が出会ったのか?」「群れで生活していたのか?」など、数千万年前の恐竜の行動を想像しながら拝聴しました。足跡化石の研究者は「ダイナソー・トラックー」と言って、全世界でも多くはないということです。とても貴重で、興味深く、面白い学問分野の講演会でした。



柴田健一郎氏→
科学講演会の様子↓

教員養成課程 [学生対象] 理科実験講座

2月28日(水)、3月1日(木)の2日間にわたり、鎌倉女子大学の小学校教員養成課程の学生を対象に「理科実験実践講座」を開きました。初日は物理分野「磁石と電気」、2日目は生物分野「アジの解剖、植物カード」を題材として、小学校の理科(生活科)で実践できる実験を紹介しました(初日は27名、2日目

は24名の参加で、ほとんどが2日間とも受講)。将来、小学校の教員を目指している大学3年生が中心だけあって、学習指導要領との関係や、発問方法などの話にも真剣に耳を傾け、どの学生も積極的に取組んでいました。



2時間の講座でしたが、その中で「磁石や電気」の性質を体感するための実験を3種類、工作を5種類も行いました。学生たちは実際に教壇に立って自分が先生として教える場面をイメージしながら取組んでいました。



特に人生のベテランの方は、昔は学校の理科の時間に、カエルの解剖などよくやった覚えがあると思います。最近はそのような解剖実験も減ってしまいました。解剖を通じて体の構造を学習しながら、命の尊さを子ども達に教える意義も学生達に考えてもらいました。



事務局から

人事異動などにより代表者・担当者の交替や、所属・担当部署の名称変更などありましたら、「会員情報記入用紙」(今回、同時添付)に記入していただき、事務局までお知らせください(変更がない場合もお送りください)。事務局で集約し、新年度6月頃に平成30年度版に修正した会員名簿をお送りします。
(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)

おもて面と同じハクモクレンです。ここ数日の陽気で枝の先端に10cmほどの花が一気に咲き始めました。

